

本年度も
よろしくお願いします



奥州市民活動支援
コーディネーターの
鈴木まゆ子さんが、
市内の市民公益活動
団体を紹介します。

■問い合わせ
本庁地域づくり推進課 市民活動係
(江刺総合支所・☎ 34-1618)

思いをカタチに 地域づくりの輪



音声訳はなことばの会

活動は毎週木曜日に行っています。主に音声訳をしているものは、広報おうしゅうや

音声訳はなことばの会は、広報紙や新聞などの印字物と生活に必要な情報を音声に変え、録音・編集したCDを視覚障がいのある定期利用者に送付しているボランティア団体です。

発足のきっかけは、平成2年、市社会福祉協議会が「朗読ボランティア基礎講座」を開講したことでした。受講した修了生から「活字を自力で読むことが困難な人に、日常生活の中で必要な情報を音声にして届けたい」「社会から取り残されないようにしてあげたい」という声が高まり、会の結成につながりました。

「はなことば」の意味は、目の不自由な人たちに言葉の花束を届けたいという思いの「花言葉」と、自分たちの声で音声訳を届けることによって同会に親しみをもってもらいたいという思いの「話し言葉」の二つの意味を掛け合わせたものです。



分りやすい声を心掛けながらの録音作業



何度確認しながら編集していく



楽しみにしている利用者へ完成したCDを発送

情報声を声にして届けます

あなたの周りに視覚障がいのある人がいたら「音声訳はなことばの会」のことをお伝えください。

一緒に活動する会員も募集しています。

■連絡先
音声訳はなことばの会（視覚障がい者向けボランティア）
会長 中井慶 ☎ 090-2978-5138



▲音声訳はなことばの会 Facebook

<今月の表紙>

造り酒屋が高濃度アルコールを製造

前沢の酒造会社・岩手銘醸(株)は5月20日、消毒用アルコールとして代用可能な「岩手營アルコール 77」の販売を開始しました。全国的に消毒液が不足する中、地域の医療機関や介護施設で役立ててもらおうと、特別に許可を得て製造したものです。ふるさと納税の寄贈型返礼品として市内医療機関などに配られるほか、一般向けの販売も行っています。

CONTENTS

- 2 キラリ輝く奥州人
- 3 思いをカタチに 地域づくりの輪
- 4 新型コロナウイルス感染症対策の情報
- 6 未来に明るい奥州市であるために 財政の健全化
- 10 食育推進計画を策定しました
- 12 環境問題について考えましょう
～6月は環境月間です～
- 13 6月から検診がスタート
～検診で自分の体をチェックしよう～
- 14 街diary
医療局だより

- 15 ILC希望のひかり
市長コラム「おうしゅう羅針盤」
- 16 いいとこ、知っとこ おうしゅう
- 17 まなびの里
- 18 もっと安心 ずっとおうしゅう
はい、こちら総合相談室
- 19 子そだて広場
- 20 インフォメーション
- 24 奥州遺産



小沢 宗さん (67歳)

=江刺愛宕=

好きな自然と 共に生きる

「原点は自然の中で遊んだ少年時代」と語るのは、県環境アドバイザーとして環境学習の講師などを務める小沢宗さんだ。

「奇跡のリンゴ」で知られる木村秋則さんの持続可能性のある農業の考え方に共鳴していた小沢さん。定年退職後に江刺の実家へ戻ると、農薬や化学肥料、動物由来の堆肥を使わない自然栽培の米作りを始めた。

時を同じくして、県の環境アドバイザーに就任。小学校の環境学習で講師を務め、川

米と同様に自然栽培で育てられるブルーベリーの木。キウイフルーツも栽培している

にいる小さな生き物が大きな動物へとつながる食物連鎖と、それをとりまく環境の大切さを伝えていく。川に入ったり子どもたちが、サワガニや小魚を捕まえて目を輝かせる姿に、川で泳ぎ釣りをしていた少年時代が重なるという。学習後には「小さな生き物を大切にしたい」という感想が寄せられ、手応えと喜びを感じている。

近年の度重なる自然災害に「経済活動も大切だが、人と地球が共存する考え方に変える時期にきているのでは」と自然に思いを寄せた。



おざわ・つかさ◎昭和28年、江刺生まれ。県環境アドバイザー、県地球温暖化防止活動推進員を務める。市環境市民会議「奥州めぐみネット」副代表。趣味は登山。家族は母、妻、子ども2人。